

桜花学園大学及び名古屋短期大学（以下「本学」という。）は、信念のある人を育成することを教育理念のもと、深く専門的学術技能を教授研究し、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与することを目的として研究活動を推進している。研究活動の過程で収集又は創出される貴重な研究データを適切に管理し、公開および利活用できることを目的とし、「桜花学園大学・名古屋短期大学 研究データ管理・公開ポリシー」（以下「本ポリシー」という。）を以下のとおり定める。

（研究データの定義）

1. 本ポリシーにおける「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集または創出された情報を指す。

（研究データの管理）

2. 本学は、原則として、研究者が収集または創出した研究データを管理する権利と責務を有していることを認める。その際、研究者は、法令、本学規則、倫理的要件、その他それらに準ずる規則などを遵守の上、研究データを適切に管理する。

（研究データの公開・利活用）

3. 研究者は、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、法令、本学規則、倫理的要件、その他それらに準ずる規則に従って、可能な限り社会に研究データを公開し、その利活用を促進する。

（本学の責務）

4. 本学は、研究者が行う研究データの管理、公開および利活用するための環境を整備する。

（その他）

5. 社会情勢や学術状況の変化に応じて、適宜、本ポリシーの見直しを行うものとする。